



<https://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

令和7年2月



宮崎 明さん・そえ子さん夫妻(南阿蘇村)

## ■今号16ページ 主な内容

- 「熊本県域」A構想について
- 令和7年祈願祭および仕事始め式／青壮年部「門松」飾る
- 農事組合法人A S O的石が最優秀賞受賞
- 女性部フォーラム「家の光大会」開催
- 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント! etc.

今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇のホームページに  
アクセスできます!



# 2025 立春

VOL. 139



## ●/▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088



## 「熊本県域 J A 構想」について



組合員の皆様におかれましては、平素より J A 阿蘇の事業に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、「熊本県域 J A 構想」については、第26回 J A 熊本県大会（平成30年12月）において、「県域 J A 構想実現に向けた組織協議を開始すること」を決議し、以降、「熊本県域 J A 構想に係る協議会」を設置し、協議を行ってまいりました。

J A 阿蘇では組合員の皆様に、支所運営委員会や部会など様々な協議体で県域構想の必要性等を説明し、県域に向けて進んでまいりましたが、県下 J A では「組合員の皆様が理解・納得し得るほどの協議に至っていない」「将来的な合併は必要だが、時期尚早である」といった理由から、令和8年4月に設立する県域 J A への参加を見送る J A があり、当初目指していた規模での県域 J A の設立が困難な状況となりました。

そうした状況を受け、残る J A で協議をした結果、令和8年4月の県域 J A の設立は見送ることといたしました。

今後の方針については、J A グループ熊本全体で協議していくこととなりますが、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、将来にわたって農家・組合員の「営農とくらし」を守ることが使命であることに変わりはありません。

今後は、そのために何ができるのか、何が必要なのかを考え、県域構想の灯は消さず、将来の合併に向けた必要な取り組みを行っていきたいと考えております。

組合員の皆様に対しましては、今後も情報を発信してまいりますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上





令和7年祈願祭・仕事初め式「役職員一丸となって組合運営に取り組もう！」

農業者とJAが共に

持続可能な経営基盤確立を

J A阿蘇は1月6日、本所で令和7(2025)年祈願祭と仕事初め式を行いました。式には本所役職員ら約80名が出席しました。

祈願祭では阿蘇神社神主により諸災消除や事業繁栄を祈願する神事が執り行われました。

仕事初め式では、原山寅雄組合長が「農業者とJAが共に持続可能な経営基盤の確立を図るため、役職員が一丸となって組合運営に取り組んでいきましよう」と力強く新年の決意を述べました。

仕事初め式を終え、役職員らは気持ちを新たに業務に取り掛かりました。



令和7年仕事初め式で祈願する原山組合長ほかJA阿蘇役職員

J A阿蘇青壮年部の力作！  
本所・小国郷中央支所・阿蘇南中央支所に  
手作りの「門松」飾られる。



本所正面玄関に飾られた門松



本所に飾る門松を作ったJA阿蘇青壮年部の橋本寛史さん(前列左)、橋本凌さん(前列中央)、岡田孝七さん(前列右)

12月24日、J A阿蘇青壮年部による門松作りが行われ、完成した門松は本所・小国郷中央支所・阿蘇南中央支所の3か所に飾られました。

本所では門松が完成して正面玄関に据えられると、職員らが見物に訪れ、青壮年部による力作に「とても綺麗な出来栄え」と一足早い正月気分を楽しむ姿が見られていました。

門松は1月上旬まで飾られ、訪れた人々を楽しませていました。

熊本県麦・大豆生産振興大会「麦・集団の部」  
農事組合法人A S O 的石が最優秀賞

令和6年8月22日、令和6年度熊本県麦・大豆生産振興大会と同時開催された令和5年度熊本県麦・大豆振興共励会表彰式で、農事組合法人A S O 的石が麦・集団の部で最優秀賞を受賞しました。

麦の生産においては、麦作農家の生産技術水準の向上と経営の改善を通じて、生産性及び品質の向上並びに流通の合理化を推進することが重要となっております。

農事組合法人A S O 的石は、経営規模の拡大や生産コスト低減など、経営面から他の範となる実績を有していることや、実需者のニーズに対応した品種への転換や栽培方法の改善。さらに実需者・消費者との連携による消費拡大対策の実施など、販売を想定した生産を行っていることが評価され、今回の受賞となりました。

同組合法人の宮川暎一代表は「今回の受賞を大変嬉しく思う。更なる生産性向上に取り組んでいきたい」と更なる意気込みを述べていました。

※次ページに表彰式の写真掲載



# 令和6年度 熊本県麦・大豆生産振興大会

主催 / JA熊本経済連



令和6年度熊本県麦・大豆生産振興大会「麦・集団の部」で最優秀賞を受賞した農事組合法人ASSO的石の山内今朝重さん(右)、宮川暎一さん(中央)、山本隆行さん(左)

## JA阿蘇一の宮畜産部会 高品質・低コスト 自家生産サイレージ品評会を実施

JA阿蘇一の宮畜産部会は12月17日、自家生産サイレージ品評会を行いました。

品評会には27点が出品され、「サイレージ」「ヘイレージ」「飼料稲(WCS)」「牧乾草」の4部門に分け、阿蘇地域振興局及び熊本県農業研究センター草地畜産研究所の職員らが水分量・色味・香り等に注目し審査を行いました。

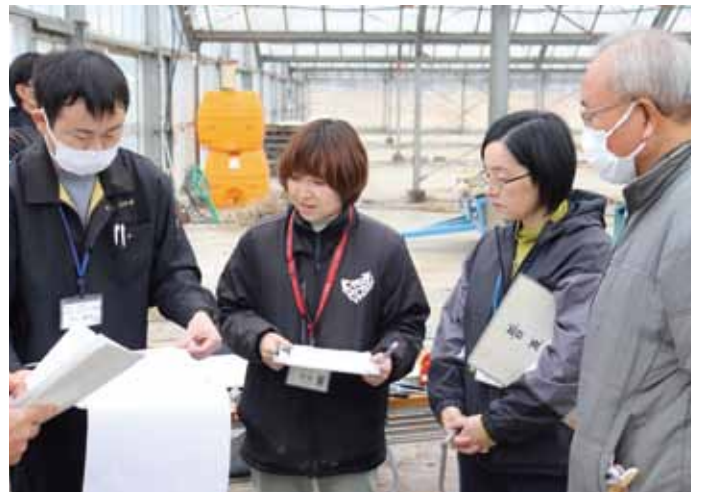
審査にあたった県農業研究センターの野崎由美研究主任は、「天候不順の中、水分量調整されている飼料が多く、生産者の努力が伝わった」と講評し、各部門で一番品質の良かった出品者を表彰しました。

同畜産部会の犬飼忠綱部会長は「配合飼料等の高騰などが続き厳しい状況にある。高品質な粗飼料を自家生産し、低コスト化に努めたい」と感想を話していました。

当日は阿蘇地域振興局による講習会も開かれ、県内の畜産状況や家畜市場の動向を確認しました。

表彰者は以下の通り。(敬称略)

- ◇サイレージ部門 後藤倫弘
- ◇ヘイレージ部門 渡辺積夫
- ◇飼料稲(WCS) 部門 井敬蔵
- ◇牧乾草部門 犬飼忠綱



自家生産サイレージ品評会の様子



## 第22回JA阿蘇女性部フォーラム ～家の光大会～

バンド演奏・ちゃぐりん感想文・活動発表など多彩なプログラムで盛り上がる！

J A阿蘇女性部は11月28日、阿蘇市で「第22回 J A阿蘇女性部フォーラム～家の光大会～」を開催しました。

フォーラムには、女性部員や J A阿蘇役職員など約60名が参加しました。

大会冒頭で熊本大同青果(株)「ベジフルマシンガンズ」によるバンド演奏が行われ、会場は一気に大きな盛り上がりとなりました。

大会では、家の光記事活用優良支部表彰や、ちゃぐりん

感想文の表彰と発表が行われ、表彰者に盛大な拍手が送られました。

女性部活動発表では大道芸の南京玉すだれが披露されました。

午後からは、桂千朝さんによる交通安全落語や反射神経測定を行い、楽しく笑って健康について学びました。

女性部の今後の取り組みとして、外国人技能実習生との研修会を開き、さらなる交流を深める計画です。



女性部活動発表・ちゃぐりん感想文表彰・南京玉すだれ・バンド演奏、そして落語と会場は大きな声援と笑い、拍手に包まれた！







## 未来塾修了レポート発表会 営農部の渡邊雄大職員が研修成果を発表



「熊本県域直売所構想」と題してレポートを発表する渡邊雄大職員

JA熊本中央会が主催する「令和6年度未来塾修了レポート発表会」が1月17日JA熊本教育センターで行われ、営農部園芸課の渡邊雄大職員が研修の成果を発表しました。

この研修会は、今後のJA運営を担う中核となる人材を継続的に育成することを目的に行われており、各JAから推薦された研修生12人が様々な考え方やノウハウを身に付けるため、昨年5月から10回にわたり研修を受けてきました。当日は各JAの常勤役員や上司などが参加しました。

渡邊職員は「熊本県域直売所構想」と題して、熊本県産の魅力と感動を伝え、熊本市内の一般消費者をターゲットにした直販方式と、JA自ら営業し新しい販路を切り開く外販方式について発表しました。

## 「熊本県スマイルサポーター ロールプレイングコンテスト」 西原支所の立野なぎさ職員1位に輝く!



1位に輝いた立野なぎさ職員(写真中央)

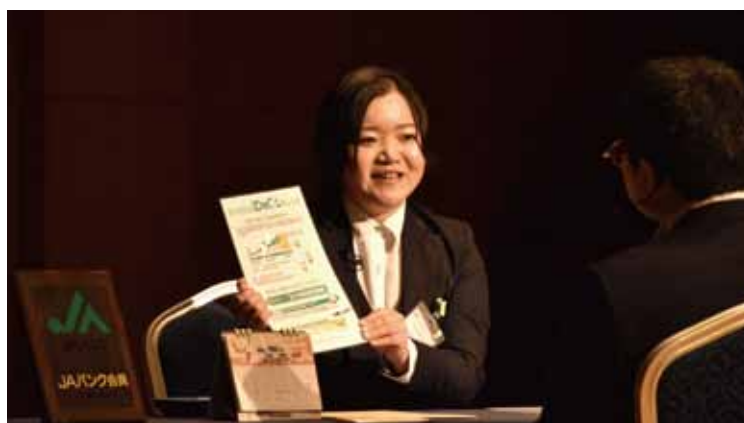
2024年度「熊本県スマイルサポーターロールプレイングコンテスト」で、JA阿蘇西原支所の立野なぎさ職員が1位になりました。

同コンテストは県内13JAから25人が参加し行われ、共済窓口担当者のスキルアップを図り、組合員・利用者のニーズに即した保障提案を実現することで、満足度向上を図ることが目的で、話法や提案力などをポイントに8月から県内各地域で審査が行われていました。

出場者はタブレット端末を使い、JAの自動車共済「クルマスター」などを提案しました。立野職員は対話の中で保障内容を具体的に示しながら丁寧に説明した点が評価されて1位となりました。

立野職員は「専門用語を極力使わず、利用者への分かりやすさを意識しました。支所のサポートに感謝したいです」と受賞の喜びを語っていました。

## 「JAバンク熊本ロールプレイング大会」 一の宮中央支所の松尾彩職員が出場



笑顔で商品・サービスの説明をする松尾彩職員

1月18日、「第19回JAバンク熊本ロールプレイング大会」がホテル熊本テルサで開催されました。この大会には熊本県下JAから予選を勝ち抜いた11人が出場しました。JA阿蘇からは予選会で最優秀賞を受賞した一の宮中央支所の松尾彩職員が出場しました。

競技ではあらかじめ設定された共通課題に従い、顧客ニーズに合った商品・サービスを分かりやすく説明を行いました。

松尾職員は「平常心で自分らしさを意識して臨みました。今大会で学んだことを活かし、投資信託を始めお客様に寄り添った提案ができるように、これからも頑張っていきます」と決意を語っていました。



JA阿蘇年金友の会から参加した代表選手の皆さん

年金友の会親善グラウンドゴルフ大会  
JA阿蘇代表、熱戦を繰り広げる

「あそっ娘☆短期大学カローリング大会」  
健康増進とメンバーの交流を図る



カローリング大会開会式の様子

11月21日、パークドーム熊本で「第22回JAバンク熊本年金友の会親善グラウンドゴルフ大会」が行われました。大会は熊本県内のJA年金友の会組織の拡大を図るとともに、改組後の親善と融和を深めることを目的に開催されています。  
JA阿蘇年金友の会からは代表20人が参加し、熱戦を繰り広げました。

JA阿蘇は12月10日、一の宮中央支所で「第3回あそっ娘☆短期大学カローリング大会」を開きました。大会は健康増進やメンバーの交流を目的に毎年開かれています。本年度は受講生やJA職員ら約25人計8チームが競い合いました。  
参加したあそっ娘らは「多くの方との交流が出来て楽しかった」などと感想を語っていました。  
堀川美紀職員は「あそっ娘たちが仲睦まじく体を動かしている姿が見られた。今後も健康増進に繋がる活動を行っていきたい」と話していました。



カローリングを楽しむ「あそっ娘」の皆さん



## 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き①

**JA阿蘇営農部**  
**「関東GFPIいちご生産者**  
**輸出フォーラム」で事例発表**

 関東GFPIいちご生産者輸出フォーラムで  
 事例発表を行う江藤秀晃職員

JA阿蘇営農部は10月31日、行政や関係機関等から225人が参加した関東農政局主催の「関東GFPI（農林水産物の輸出プロジェクト）いちご生産者輸出フォーラム」に参加し、JA阿蘇いちご部会の輸出に関する特徴や強み、商談会への参画や販促活動の現状と今後の展望などの取り組み事例を発表しました。

同フォーラムは、イチゴの輸出拡大を目指す生産者・産地に対して、海外市場や規制の動向、イチゴ輸出の優良事例を共有するとともに、自

身が抱える課題を持ち寄り、課題解決策を探り共有し、輸出拡大への機運醸成を図ることを目的に開催されました。

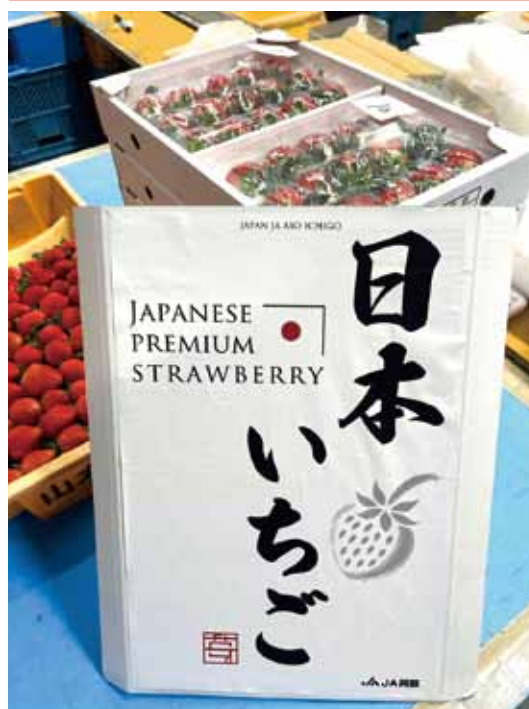
青果物であるイチゴは、輸出先国・地域との植物検疫条件や残留農薬規制に対応するため、国内向けとは違った生産が必要です。また、輸送中の傷みや空港までの国内物流網が整っていないなどの課題がまだ背景にあります。

JA阿蘇は、イチゴ産地としての課題、輸出への取り組みの背景、スマート農業実証、パッキングセンターの特徴などを具体的に紹介しました。

参加者は「パッキングセンターでの品質均一化について勉強になった」や「輸出への意欲と生産者への想いが印象に残った」などと感想を述べていました。

営農部の江藤秀晃職員は「これからの日本の人口減少による食市場の縮小傾向は避けられない。成長が見込まれる海外に目を向けた取り組みに努めていく」と、更なる取り組みを力強く話していました。

JA阿蘇は今後、台湾向けの生産体制・出荷体制の整備や青果市場・商社と連携した新たな市場の開拓を行い、現地ニーズに合った商品供給ができる体制の構築に取り組んでいきます。

**JA阿蘇のイチゴ**  
**UAE（アラブ首長国連邦）へ出荷開始**  
**1粒化粧箱 10,000 円の発注も！**


JA阿蘇は、今年度イチゴをUAEのドバイに向けて本格的に出荷を開始しました。昨年11月にジェットロ事業での青果物輸出商談会を開催し、好評を得たことで輸出の開始となりました。

昨年は5つ星ホテルや日本食レストラン向けに出荷し、アブダビの王族向けに1粒化粧箱（10,000円／粒）の発注もあったことで「阿蘇いちご」の評価向上に繋がりました。

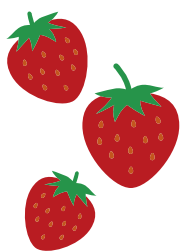
今年産においてはUAEへ渡航し、実際に出荷したイチゴの品質を現地で確認しました。また、現地市場調査及び取引先と商談などを行い、更なる輸出拡大に向けた取り組みや海外での販路拡大、生産者の所得向上に繋がるよう努めていく方針です。

担当の江藤秀晃指導員は「現地の



新資材(写真右)で作られた輸出用パック詰めを検品する職員

ニーズや消費動向に因應することが重要。今後も果実が大きく、食味も良い「阿蘇いちご」を世界へ向けPRしていきたい」と意気込みを語っています。





## 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き②

JA阿蘇いちご部会  
販売額8億 販売数量500t計画



いちご選果選別作業の様子

JA阿蘇いちご部会では、令和6年産イチゴの出荷が最盛期（12月上旬取材）を迎えています。

同部会の作付け総面積は約11haで、生産者は36戸。「恋みのり」「ゆうべに」「さかほのか」の3品種を作付け。販売金額8億円、販売数量500tを計画しています。

今年度、育苗期からの施肥設計を見直し、病害対策や花芽分化時期の調整を行ったことで病害が少なく例年並みの定植時期となりました。また、十分な日照と定期的な降雨により、スムーズな活着で順調な生育状況となり10月28日に初出荷を迎え、九州管内や関東・関西方面へと出荷が本格的に始まっています。

JA阿蘇中部野菜センターには、各生産農家から多い時に約2500ケース（1ケース2kg）が持ち込まれており、選果選別作業に追われています。

担当の江藤秀晃指導員は「阿蘇の強みを生かした生産（早期収穫・大玉生産等）を行い、有利販売に繋げて農家所得の向上に努めていく」と話していました。

いちご部会では、6月中旬まで安定した出荷に取り組み、さらに消費者ニーズに沿った独自のアイテムの展開、販売促進活動を行い有利販売に繋げていく計画です。

アスパラ部会出荷反省会  
生産環境が厳しい良好な実績  
優秀生産者表彰も行う

12月4日、阿蘇市内で関係者約100人が出席し、令和6年度JA阿蘇アスパラ部会出荷反省会が開催されました。同部会は本年度の実績として、出荷量76t（前年比97%）、販売金額9億921万円（同100%）と生産環境が厳しい中ではありましたが、良好な実績となりました。部会長の綿住輝さんは挨拶で「厳しい生産環境の中、関係機関や生産者の努力により乗り越えられた」と感謝を述べました。

アスパラ部会では新規参入者も

年々増加傾向にあり、生産力・販売力強化に重点的取り組みを行い、年々実績を伸ばしてきています。部会では、今後も部会員の所得アップに向けJA・生産者が一丸となり、より一層連携した取り組みを続けていく方針です。

当日は表彰式も行われ、次の方々（敬称略）に表彰状と賛辞が贈られました。

◇JA表彰の部

総販売金額Ⅱ笹原順子

◇部会表彰の部

総販売金額Ⅱ西村豊治・後藤浩昭・室豊

▽栽培技術部門Ⅱ佐藤春生・小永康平・片山雅雄

▽技術躍進部門Ⅱ佐藤哲治・山本幸喜

▽新人賞部門Ⅱ田上敦裕



アスパラ部会出荷反省会の様子

過去最高の販売高18億円達成  
中部トマト部会総会・反省会



中部トマト部会総会・反省会の様子

JA阿蘇中部トマト部会は12月20日、阿蘇市内で2024年度総会と反省会を開きました。同年度の販売高は18億3664万円（前年比113%）と過去最高の実績を達成。梅雨時期の豪雨や日照不足が少なく、平均単価が1585円（同108%）と高値で推移したことや、出荷量が116万ケース（同105%）となったことが要因となりました。

斉藤孝幸部会長は挨拶で「酷暑が年々厳しくなる中、部会全員の努力で過去最高の販売高を達成することが出来た。次年度は出荷後半の収量を安定させ、阿蘇産トマトの発展に繋げていきたい」と述べました。

24年度は異常気象による生育阻害

※次ページに続く

## 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き③

※前ページより続く

や病害虫の発生などが多く見られたため、土壌分析を活用した施肥管理の徹底、管理作業期間の見直しによる出荷後半の収量確保、ハウス換気と遮光管理の最適化の3つを次年度への課題としました。

当日は優績者表彰もあり、次の方々（敬称略）に表彰状が贈られました。

◇JA表彰の部

▽総販売高部門Ⅱ下村委也

◇部会表彰の部

▽販売高部門Ⅱ斉藤孝幸・松永拓巳

▽栽培技術部門Ⅱ緑智博・岩下岳樹・

斉藤本・猿渡茂樹・岩下幸史・

阿蘇農業男児合同会社・森新吾・

甲斐佳祐・齊藤悠・松永拓巳

### 小国郷の秋冬ダイコン 12月下旬まで出荷続けられる JA阿蘇小国郷大根部会



選別を行う高村多喜子さん

県内有数のダイコン産地であるJA阿蘇小国郷管内では、秋冬ダイコンの出荷が最盛期（11月下旬取材）となっています。連日15tの集荷があり、主に福岡・熊本・長崎方面へと出荷されています。2024年度産は生育のばらつきが若干ありましたが、適度な雨の影響で順調に出荷が来ています。

品質は秀品の2L・L階級中心で良好となっています。秋冬ダイコンは甘味が強くみずみずしい特徴を持ち、大根おろしやスティックサラダ

でそのまま味わうことができます。

小国郷大根部会の高村隆さんは、省力化に繋がる機械の導入で、マルチ栽培を出来るだけ行わず、コスト削減を図るため露地播きを行っています。

高村さんは「消費者への感謝を忘れず、日本の食を自分たちが支えているというプライドを持ち、安全・安心なダイコンを作り続けたい」と話していました。同部会は生産者12戸、作付面積50ha、主な品種は「秋の翼」で12月下旬まで出荷が続けられました。

## 表紙で紹介の生産者『宮崎明さん・そえ子さん夫妻』

## JA阿蘇いちご部会副部会長を務め ゆうべに約20a栽培

イチゴの収穫作業をする  
宮崎明さん・そえ子さん夫妻

宮崎明さん・そえ子さん夫妻は、南阿蘇村でイチゴ約20a栽培し、そのほか牛を10頭、米を8ha営農している生産者です。

「冬場に生産できる作物を」とイチゴ生産を始めて35年。現在はJA阿蘇いちご部会の副部会長を務めています。

宮崎さんが生産している品種「ゆうべに」は熊本で誕生したイチゴです。大玉できれいな円錐型をし、甘みと酸味のバランスが良く上品な味で、フレッシュな果汁と芳醇な香りが特徴です。栽培では特に“根張り”が収穫時の生育を左右します。宮崎さんも“根張り”に重点を置き施肥設計を行っています。

また、イチゴにストレスを与えないように病害虫対策にも力を入れて栽培しています。宮崎さんは「イチゴ生産に誇りを持っている。今後も安全・安心なイチゴを消費者に届けたい」と、力強く話を結びました。





第5回「アグリイノベーションフェア」  
出展企業42社売上1億2000万円超達成



開会式では目標達成に向け「JA阿蘇役職員・関係者による力強い「がんばろう三唱」が行われた

JA阿蘇は第5回アグリイノベーションフェアを11月21・22日に南阿蘇村の白水ライスセンターで、11月28・29日に阿蘇市のJA農業倉庫「米夢」で開催しました。

フェアの開催は、今日、AIやIoTを使ったスマート農業が推し進められている中で、農業者・農業法人に対して変わりゆく農作業技術革新の情報共有を図ることを目的としています。

開会式では計画目標達成に向け力強く「がんばろう三唱」が行われました。

フェアには企業42社が参加出展。会期中の来場者は約750名にのぼり、1億2000万円を超える売上実績となりました。

それぞれの会場では最新の自動車や農機具などが展示・販売され、刈払機などの小型農業機械からトラクターなどの大型農業機械、ガソリンを使用しない電気自動車や新車、中古車など数百の機種が一堂に並びました。

会場の一角には資金相談の臨時窓口なども設けられ、各部門で連携した組合員サポート態勢が整えられていました。さらにキッチンカー等の飲食ブースの出店もあり、家族連れの来場者にも好評を得て賑わいをみせました。

担当した購買部は「今後も安全・安心な農産物の持続的な生産が出来る環境づくりに努めていく」と話していました。



会場では最新の農機具・刈払機などの小型農業機械からトラクターなどの大型農業機械、今話題の電気自動車、各メーカーの新車・中古車などの多彩な車種が一堂に展示、販売された。

# JA阿蘇 イラスト違い探し「雪だるま」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



## イラスト違い探し「雪だるま」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。正解者の中から抽選で5名様に「いちご(恋みのり)2パケット」(写真)をプレゼントします。応募締め切りは令和7年3月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



## 前号「こたつ」答えとプレゼント当選者5名様



= 答え =

- ① カレンダーの数字
- ② 鏡餅の大きさ
- ③ お母さんがむいたみかんの実
- ④ 猫の背中の模様
- ⑤ 男の子の口



佐藤ふみよ 様 (南小国町)  
高村 健悟 様 (小国町)  
川元 由衣 様 (西原村)  
甲斐 アイ 様 (山都町)  
河野今朝晴 様 (阿蘇市)

ハガキ (表)

8692612

JA阿蘇 総務部  
「JAあそだより」係

阿蘇市一の宮町官地387-5

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望  
(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他



## 理事会・監事会報告

### ■令和6年度第11回理事会

日時: 令和6年12月18日午後3時00分

場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
  - 11月末実績について
    - 1) 合併予備契約書の締結について(案)
    - 2) 職員退職給与規程の改正について(案)
    - 3) JAバンク利用者保護等管理規程の改正について(案)
- 報告事項
  - 1) マネロンにかかる取組み状況について(令和6年9月末)
  - 2) 令和6年度上期決算監事監査報告書について
  - 3) 令和6年度導入家畜等柵卸監査実施要領について
  - 4) 年末年始の業務等について(金融・共済・購買・営農)
  - 5) アグリイノベーションフェア実績について
  - 6) 仕事初めに伴う支所巡回並びに新春の年賀について
  - 7) 自主検査結果報告について(令和6年10月)
4. 閉会

### ■令和6年度第12回理事会

日時: 令和7年1月28日午後1時30分

場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
  - 委員会報告(金融共済専門委員会)
  - 12月末実績について
    - 1) 貸出金について(案)
    - 2) 転貸資金の借入及び貸出について(案) ↗

- 3) 信用事業方法書の改正について(案)
  - 4) 信用事業にかかる手数料の新設について(案)
  - 5) 令和6年度上期決算監事監査回答書(案)について
- 報告事項
- 1) 信用・共済窓口営業時間の変更について
  - 2) 県域ローンセンター媒介業務実績について(四半期)
  - 3) 有価証券購入報告について
  - 4) ATM利用状況について(12月末)
  - 5) マネロン・反社等への対応状況について(四半期報告)
  - 6) 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について(令和6年10月～12月)
  - 7) 令和6年度内部監査の品質評価に関する報告について
  - 8) 令和6年度農政連会費・国際貿易交渉対策募金実績について
  - 9) 自主検査結果報告について(令和6年11月)
4. 閉会

### ■令和6年度第10回監事会

日時: 令和7年1月28日午前10時30分

場所: 本所2階第一会議室

1. 開会
  2. 挨拶
  3. 議題
    - 1) 令和6年度導入家畜等柵卸監査実施手続きについて
- 報告事項
- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
  - ② 内部監査の品質に関する内部評価報告書について
  - ③ 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について(令和6年10月～令和6年12月)
  - ④ 行事予定について
4. 閉会

### ●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ (令和6年12月1日辞令) ●●●

氏名	新辞令	旧辞令
長野 哲也	購買部 J A 阿蘇農機センター統括 (阿蘇町駐在) 兼 高森支所 J A 阿蘇農機センター長	購買部 J A 阿蘇農機センター統括 (阿蘇町駐在)
佐々木 聡	高森支所 J A 阿蘇農機センター係	高森支所 J A 阿蘇農機センター長



熊本県食の安全安心推進条例に基づき

# 農薬登録がない除草剤で栽培・管理した農作物は出荷・販売できません！

## 農薬登録がない除草剤(いわゆる**非農耕地用除草剤**)とは？

農薬登録がない除草剤は、道路、駐車場など農作物を栽培・管理していないところでしか使用できません。

※このような除草剤を農作物の栽培・管理(水田畦畔含む)に使用することは、法律で禁止されています



容器に『農林水産省登録第〇〇〇〇〇号』の表示がなく、農耕地に使用できないことなどが書かれています。

## なぜ農薬登録がない除草剤を農作物に使用してはいけないのか？

農薬登録がない除草剤は、人への安全性が確認されていないため、健康被害のリスクがあります。

## 農作物に除草剤を使用するときの注意点

- ① まずは、使用する除草剤のラベルに「農林水産省登録第〇〇〇〇〇号」と記載されているか確認します。

容器に『農林水産省登録第〇〇〇〇〇号』

の表示があるものを選びます。



- ② 登録番号があっても、農作物の栽培・管理に使用できない除草剤があります。ラベルに記載されている作物名、使用方法等を守って使用します。

【ラベル例】

作物名	使用方法	適用場所
樹木等	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	公園、駐車場、道路等

**農作物を栽培・管理しているところでは使用できません**


※ラベルを守らない使用は、農薬取締法違反です。罰則が科されることがあります。

「除草剤の販売・使用について」(農林水産省)(<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/attach/pdf/herbicide-9.pdf>)から引用



# JAバンクを装ったフィッシングメールにご注意ください！

## 偽メールに気をつけてください



- JAバンクを装ったメールがくる  
誰かに「フィッシングメール」を送ってID/パスワードを聞き出してやる
- IDとパスワードを伺うメールが届く  
あら！やだ急いでIDとパスワードを返信しなきゃ!!
- IDとパスワードを返信してしまい知らない人に情報を盗まれてしまう  
よしよし、IDとパスワードを盗んだぞJA/バンクからお金を引き出してやる
- 盗まれたIDとパスワードを悪用されてしまう  
あれれ!? お金がなくなってる!!! **ガーン**

## ポイント

### 操作を焦らされていませんか？

メールの件名や内容で慌てずに、まずは公式サイトからログインし、あわせて身に覚えのない取引がないか確認しましょう。

<メールの件名>  
※実際に確認されたもの

- ・【JAネットバンク】利用停止のお知らせ
- ・【JAネットバンク】緊急停止のご案内
- ・【JAネットバンク】お客さま情報等の確認について
- ・【農業協同組合】振込（出金）、ATMのご利用（出金）利用停止のお知らせ
- ・【緊急】JAネットバンク お取引を保留した（必ずご確認ください）

不特定多数の方へ複数回送られていることが確認されています。

## ポイント

### フィッシングメールなどに記載されているURLにはアクセスしない！

偽サイトにはID・口座番号・パスワード等は絶対に入力しないでください。

<要注意>  
特にワンタイムパスワードを漏洩すると、犯人側で送金が可能となり、**貯金残高の全額を不正送金されるリスクがあります。**

フィッシングメールの被害に遭われたと思ったら…  
緊急停止を実施してください。  
【JAネットバンク ヘルプデスク】  
0120-058-098

## 偽サイトに気をつけてください



- JAバンクを装ったメールがくる  
誰かを「偽のサイト」にアクセスさせて個人情報を盗んでやる
- 偽サイトにアクセスを促すメールが届く  
あら！JAバンクからのメールかしら？
- 偽サイトにアクセスし重要な情報を入力してしまう  
アンケートに答えるだけでいいなんてうれしいわ♪
- 知らない人に入力した情報が送られ、情報を悪用される  
ひっかかったな盗んだ個人情報を悪用してやるう…  
ギャー!! 何で私の個人情報がいるんところに漏れてる!?



# 信用・共済窓口 営業時間変更のお知らせ



「働き方改革」および「業務効率化」の観点から

**令和7年4月1日（火）より**

**信用・共済窓口に昼休業を導入します。**

## 【 金融 】

	変更前	変更後
窓口営業時間	8：30～15：00	8：30～11：30 12：30～15：00
休業時間	—	11：30～12：30

※店内設置のATMについては、営業時間の変更はございません。

窓口休業時間中も通常通りご利用いただけます。

## 【 共済 】

	変更前	変更後
窓口営業時間	8：30～17：00	8：30～11：30 12：30～17：00
休業時間	—	11：30～12：30

組合員・利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。ご不明な点がございましたらお近くの店舗窓口までお問い合わせください。



JA阿蘇

